あなたのまちの　行政情報紙

広報はしま

With best New Year's wishes.

1
Jan.2023
Vol.751

Contents

新年のあいさつ / 市政 10 大ニュース / 給食費無償化の期限延長
次期ごみ処理施設の事業者決定 / 旧本庁舎「解体」の方針を決定

表紙写真：下中町で架橋が進む (仮称) 新濃尾大橋

新年のごあいさつ

財政を守り「新たな日常」を実現

羽島市長　松　井　　聡

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様方には、輝かしい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃は羽島市政推進に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が世界にまん延してから、間もなく3年が経過します。我が国の感染者数は減少した時期があったものの、新たな変異株が確認された昨年末から増加傾向に転じており、未だに予断を許さない状況です。羽島市ではワクチン接種を着実に進めながら、感染防止対策の周知徹底、市民生活・経済活動の維持両立に、引き続き取り組んでいるところです。

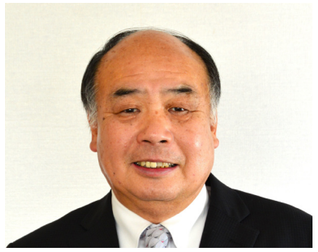
そのような中、羽島市の新たなランドマークとなった市役所新庁舎の開庁から1年が経過しました。来庁された方々には総合窓口によるご案内をはじめ、良質な市民サービスを提供するだけでなく、1階の市民ロビーや駐車場を活用したイベントも開催。賑わい創出の拠点として機能させています。

一方、新庁舎に隣接し、用途を廃止していた旧本庁舎のあり方についても、羽島市では今後の行財政運営への影響、建築物としての利用価値、周辺への安全性等の課題を中心に検討を進めてきました。有識者や市民代表の方々による「旧庁舎あり方検討委員会」からは「旧本庁舎は施設として使用・保存せず、解体することが最良」との答申を受理しました。

それ以前にも市は、タウンミーティングや団体向けに100回以上開催した説明会をはじめ、広報紙やホームページによる情報提供をきめ細かく実施してきたところです。加えて、旧本庁舎の保存・活用に対し、提案募集も行ってまいりました。しかしながら、提案には運営事業者や財源の明確な提示がなかったことから、市議会12月定例会において、旧本庁舎を解体する方針を明らかにしました。この方針は、施設としての利用と財政負担という総合的な観点から、地方公共団体として責任のある判断を行ったものです。今後は解体に向け、必要な議案を市議会に上程する予定です。

羽島市では、ウィズコロナ・ポストコロナの「新たな日常」の実現を目指し、選択と集中の「財政安定化対策」に基づいた実践的な施策を展開しています。市政の重点課題に関する一連の経緯等は、引き続き適時適切に情報を発信し、持続可能な自治体運営に努めてまいります。

市民の皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭にあたってのごあいさつとさせていただきます。



開かれた議会運営と様々な行事再開の推進を

羽島市議会 議長　南　谷　佳　寛

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃から市政運営と議会活動に対する格段のご理解とご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

現在、我が国の経済は、コロナ危機からの回復が見込まれるものの、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー価格の高騰や急激な円安による物価高騰など、先行き不透明な状況にあります。

このような状況下、市においては、昨年、市民の負担軽減を図るため、学校給食費の無償化、可燃ごみ袋の全戸無償支給の実施、国保税の据え置き、また市内中小企業のアフターコロナを見据えた事業展開の支援など独自の対策に取り組んでまいりました。さらに、催し物や行事も徐々に開催してきており、コロナ禍以前の活動を取り戻しつつあります。

市議会においても、本会議録画中継のユーチューブ配信、すべての委員会会議録の市ホームページでの公開、議案の公開、市民との意見交換会の開催など、議会の機能強化として開かれた議会運営に取り組んでまいりました。今後も、皆様の多様な意見に耳を傾けながら、市政に適切に反映できますように、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図り、市民の皆様に寄り添った議会を目指してまいります。

また、市民の負託を受けた二元代表制の一翼を担う議会として、市政の適正な監視を継続するとともに、市民福祉の向上と市の発展のため、議員一同、不断の努力をしてまいります。

皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和４年　市政10大ニュース

1位 市役所旧本庁舎 解体の方針を決定

市役所旧本庁舎のあり方について、今後の行財政運営への影響、建築物としての利用価値、周辺への安全性等の課題を中心に検討を進めた結果、解体する方針を決定しました。今後は、必要な議案を議会に上程する予定です。

2位 コロナ禍の市民負担を軽減 給食費無償化 / 可燃ごみ袋配布

新型コロナの影響や物価の高騰が続いたことから、給食費の無償化（令和４年８月から令和５年３月まで）と指定可燃ごみ袋の無償配布を行いました。医療機関や介護保険事業所等を支援するための制度も構築し、給付金を支給しました。

3位 駅周辺の人口増・地価上昇 福寿小学校の校舎を増築

岐阜羽島駅の北側エリアは、宅地化が進んだことで人口増・地価上昇の傾向にあります。近年の児童数増加に対応するため、福寿小学校の敷地内に校舎を増築しました。新しい校舎は、GIGA スクール構想に対応した設備を完備しています。

4位 次期ごみ処理施設 整備・運営の事業者が決定

岐阜市、羽島市、岐南町、笠松町で構成される岐阜羽島衛生施設組合から、福寿町平方地内に計画している新たなごみ処理施設の整備・運営を手がける事業者が発表されました。

施設の稼働開始は、令和９年４月の予定です。

5位 新型コロナ 2価ワクチン接種も開始

コロナワクチン接種を不二羽島文化センター、市内医療機関で昨年度に引き続き実施。オミクロン株対応２価ワクチンの接種も始まりました。接種率も岐阜圏域内の自治体と比べて高く、円滑に接種が進んでいます。

6位 市役所新庁舎で開催 マルシェ・美濃菊展

市役所新庁舎１階の市民ロビーや駐車場を活用し、はしま de マルシェ、羽島美濃菊展が開催されました。新型コロナの影響により全国的に中止となっていた地域イベントですが、市内では感染対策を徹底し、徐々に再開しています。

7位 ビジネスコンペ 市内 11 事業者を認定

アフターコロナを見据えたビジネスチャレンジを支援するため、優れた事業計画を提案した市内の中小企業者（11事業）を支援対象者に認定。市の産業競争力の強化や社会的課題の解決に向け、事業が展開される予定です。

8位 濃尾大花火が終了 実行委が撤退申し入れ

木曽川河畔で開催されていた濃尾大花火。観覧者の滞留や花火の燃え殻が観覧エリアに落下するなど、安全面に課題がありました。市花火大会実行委員会から一宮市側の主催団体へ共催撤退の申し入れがなされ、終了が決定しました。

9位 市民プール跡地売却 日興製薬と契約締結

羽島市民プールの跡地（堀津町）約1ha を活用するため、プロポーザルによる公募手続きを行い、日興製薬株式会社（上中町）と土地の売買契約を締結しました。資材保管・出荷業務を行うための倉庫が建設される予定です。

10位 市公式 LINE 機能拡張 施設予約 / 地域の情報

市公式 LINE のリッチメニューを更新。不二羽島文化センターやスポーツ施設の空き状況確認・仮予約、コミュニティセンターの情報および回覧文書（市から自治会への送付分）が確認できるようになり、利便性が向上しました。

※市長・副市長以下職員の投票により、昨年の市政に関する出来事を順位付けしました。

正確な情報発信を実施

羽島市の判断　旧本庁舎「解体」の理由

問い合わせ先　管財課庁舎管理担当（内線 2332）

あり方検討委員会の答申　「解体」が最良

専門的見識者をはじめ、学識者等の市民代表による旧庁舎あり方検討委員会に、旧庁舎のあり方について諮問。5回にわたる審議の結果「旧本庁舎は施設として使用・保存せず、解体することが最良」との答申を令和4年2月に受けました。

提案募集 事業主体・財源の明確な提示なし

令和4年7月から9月まで、民間事業者等を対象に旧本庁舎の利活用について提案募集を行いました。2件の提案があり、不明な点について市から問い合わせを行いましたが、事業主体や財源等が不明確であったことから、民間事業者等による保存・利活用は困難と判断しました。

地震発生時　住宅地・学校に危険が及ぶ

令和4年7月から10月までの調査により、南海トラフ地震レベルの地震発生時には、旧本庁舎および望楼（火の見やぐら）は破壊・損壊が起き、周辺の住宅地や隣接の竹鼻中学校等に著しい危険が及ぶことが判明しました。

「解体」の方針　市議会の一般質問で回答

令和4年12月の市議会本会議一般質問で、旧本庁舎の今後の方針について質問を受けました。市は、これまでの経緯や詳細な検証結果を踏まえ「旧本庁舎を解体する方針」を示しました。詳細は次のとおりです。

財政シミュレーション　事業費の支出は困難

（結論）市が事業主体となり、旧本庁舎の耐震改修工事や事業運営を実施した場合、財政調整基金（市の貯金）がなくなり、市の重要事業に大きな影響を及ぼすことが明らかになりました。

旧本庁舎の保存・活用に向け、市財政から事業費を支出することは極めて困難です。

シミュレーションの方法は、平成28年度に「羽島市本庁舎耐震強度調査検討業務調査報告書」で報告があった「旧本庁舎の外観を損なわない工法」として、最も安価な工法による工事費約17億円の工法Aのケースと、免震装置を取り付ける工法による工事費約32億円の工法Bのケースについて、令和5年度からの事業開始を想定し、中期財政見通しをもとに財政シミュレーションを実施しました。

その結果、工法AおよびBのいずれも財政調整基金が不足し、工法Bについてはそれ以降も赤字幅が拡大します。起債（市の借金）を活用した場合は、工法Aの場合、令和5年度から8年度までに計2億円、加えて9年度から27年度までの19年間、毎年平均1・1億円の一般財源の追加負担が続きます。

また、工法Bの場合は、令和5年度から11年度までに計4・3億円、加えて12年度から30年度までの19年間、毎年平均1・9億円の一般財源の追加負担が続きます。

このような財政負担の発生は、次期ごみ処理施設整備事業や公共施設の維持管理、市民病院への財政支援等に大きな影響を及ぼします。

民間利用の提案　事業主・資金が不明

（結論）2団体から提案がありましたが、民間事業者等が事業主体となり得る計画ではなく、資金調達の確実性や継続性が不明確でした。不明確な点について、2団体に対し改めて回答を求めましたが、提案募集の実施要領で市が求める条件を満たす回答を得ることができませんでした。

以上の理由から、民間事業者等による旧本庁舎の保存・利活用の実現は困難と判断しました。

民間での利用価値の検証、保存・活用の可能性を探るため、利活用案を募集しました。

前提条件として、行政施設としての利用目的が見いだせないため、民間事業者等が事業主体となること、耐震改修にかかる費用や維持管理費は民間負担としました。

募集提案を実施した結果、2団体から提案書を受け付けました。その内容は、「子育て支援施設」と「坂倉準三記念はしま建築ミュージアム」としての利活用を目指すものでした。

提案された事業主体については、行政主導もしくは今後募集・選定することを前提としており、現段階では事業主体が不明確でした。

建築物の安全確保の方法については、耐震改修に関する工法の提案はありましたが、地盤改良や長寿命化対策は今後の検討事項としており、方針は示されませんでした。

また、全体の事業費の記載がなく、資金調達の方法も補助金の活用、クラウドファンディングや協賛企業からの出資、事業用オフィスとして収益を挙げるなど、確実性や継続性の観点も不明確でした。

市役所敷地　課題

- 来庁する乗用車、自転車、歩行者にとって、新庁舎周辺の動線が利用しにくい。
- 来庁者用の駐車場が平日の午前・午後を問わずほぼ満車の状況となる。
- 職員用の駐車スペースが少なく、近隣で複数の民間駐車場を借りる費用が継続して発生している。

旧本庁舎　跡地利用の考え方

- 新庁舎周辺において、来庁者の動線を改良する。
- 来庁者および職員の駐車スペースを確保する。
- 災害時における避難場所として活用する。
- 昨年10月に開催して盛況だった「はしま de マルシェ」のような、にぎわい創出につながるイベント広場として活用する。

旧本庁舎跡地の利用は、上記の課題や考え方を考慮し、複数の活用目的を視野に入れて検討を進めます。

市役所の敷地図

旧本庁舎の状況

内部の大部分を改修しており、建築当初の様式ではありません。バリアフリー等も対応しておらず、敷地形状から大雨による浸水も心配されます。

近隣の安全性　地震で倒壊のおそれ

（結論）南海トラフ地震レベルの地震発生後、旧本庁舎および望楼（火の見やぐら）は、破壊および損壊により建築物としての安全性が著しく損なわれ、継続使用が困難になります。

また、周辺の住宅地や市道、竹鼻中学校までの広範囲において危険性が及び、周辺の安全性が損なわれるおそれがあります。

周辺への安全性を調査するため、新庁舎設計時の構造計算の申請手続きに使用した「9種類の模擬地震波」を用いて、旧本庁舎本体および望楼の時刻歴応答解析を実施しました。

時刻歴応答解析とは、主に高層建築物等に用いられる構造計算方法で、建築物の構造を3Dモデルを作成し、地表面に時間とともに変化する地動加速度を与え、建築物が振動する現象を計算するもので、地震発生時の揺れを正確に予測できる方法として用いられています。

その結果、旧本庁舎は、今後40年以内に発生予測90％程度、羽島市の想定震度は6弱とされる「南海トラフ地震模擬地震動」がもたらす影響が甚大であることが確認されました。

影響の内容は、旧本庁舎1階から4階の耐震壁や一部の柱に斜めの亀裂が入り、急激に耐力が減少する「せん断破壊」「一部損壊・圧壊」が起こり、建築物としての安全性が著しく損なわれ、機能損失の状況に陥ります。

望楼（火の見やぐら）については、2階から4階までの壁の「せん断破壊」「一部損壊・圧壊」が発生し、望楼4階から上の部分が北側の住居地域から東側の市道および竹鼻中学校までの広範囲において、崩落や倒壊、コンクリート片が飛散する可能性が高いことが確認されました。

類似の事例　方針未定や解体も

（結論）施設の活用方針が定まらず長期間が経過した事例が、他自治体でありました。

公共建築物の保存・利活用について、三重県伊賀市、宮崎県都城市、広島県呉市、大阪府東大阪市の事例を調査しました。

宮崎県都城市では、利活用の方針が定まらない状況で、約15年もの長期間にわたり問題解決に時間を要しました。広島県呉市と大阪府東大阪市の施設は、速やかに解体されています。

解体方針を決める　関連議案を今後上程

（結論）総合的な観点から改めて精査・検証を行った結果、旧本庁舎を解体する方針を決定。令和4年12月の市議会本会議一般質問で質問を受け、方針決定の経緯や検証結果を示しました。

これまでの経緯や検証の結果を踏まえ、市の重要施策決定の場である政策会議で協議し、「旧本庁舎を解体する方針」を機関決定しました。

今後は旧本庁舎の解体に向け、必要な議案を議会に上程します。

また、旧本庁舎の姿を後世に伝えるため、市民の方々からも要望をいただいたデジタル技術による映像化（アーカイブ）や資料収集に努めるなどの措置を講じます。

令和５年３月末まで

給食費の無償化　延長を決定

返金申請
詳細はこちら

●保護者の負担を軽減

下表の施設に通う市内在住の子どもの給食費無償化の期限を、令和５年３月末まで延長します。

一部施設に通う子どもの給食費は、一度給食費をお支払いいただいた後に、保護者から返金申請が必要になります。詳細は、市ホームページでご確認ください。

●事業費の総額１億円　7,800 人が対象

給食費無償化の延長は、12 月議会において補正予算が議決されました。期間中は、１人当たりおよそ１万 3,000 円の負担軽減になります。同事業は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の趣旨に沿って実施し、当該交付金を充てます。

対象施設（市内在住の子ども）	対象人数	問い合わせ先
市立幼稚園、小中学校、義務教育学校、羽島特別支援学校（小学部・中学部）	約 5,500 人	北部給食センター ☎(392)1854
保育園・認定こども園、私立幼稚園、認可外保育施設、市外小中学校等	約 2,300 人	子育て・健幸課（内線 2523）

日本に住所のある20歳以上60歳未満の全ての人（学生・外国人を含む）は、国民年金の被保険者となります。

20歳になったことで第1号被保険者になる人（自営業の人や学生など）には、日本年金機構から国民年金加入のお知らせや納付書などと一緒に、「基礎年金番号通知書」が年金手帳に代わって送付されます。

保険料の納め忘れや手続き忘れなどによる未加入期間があると、老齢基礎年金額が少なくなったり、受給できなくなったりすることがあります。また、病気や事故などで障がい者になった場合に、障害基礎年金が受けられなかったり、遺族に遺族基礎年金が支給されないこともあります。

保険料の免除・猶予・納付特例の手続き

保険料の納付が困難なときは、保険料の支払いが免除・猶予される制度があります。学生は、本人に一定の所得がない場合、学生納付特例制度が利用できます。

資格・種別変更手続き

会社を退職したときや配偶者の扶養をはずれた場合など、厚生年金の資格を喪失したり、種別の変更が生じたときなどは届書の提出が必要です。

※各種手続きには、基礎年金番号か個人番号が分かるもの・学生証（学生納付特例制度利用の場合）などが必要です。

問い合わせ先　岐阜南年金事務所☎（273）6161、保険年金課国民年金係（内線2264）

日本年金機構ホームページ

年金制度・手続き
申請・届出様式
年金Ｑ＆Ａ
年金の相談　など

次期ごみ処理施設　整備・運営 事業者が決まる

事業主体は
岐阜羽島衛生施設組合

次期ごみ処理施設整備事業は、地方自治法で定められた特別地方公共団体である岐阜羽島衛生施設組合が事業主体となって事業を進めています。同施設組合は、普通地方公共団体と同様に議会が設置され、次期ごみ処理施設整備に関わる予算等の承認を受け、施設稼働に向けた建設工事が行われます。

完成イメージ
※設計協議により変更となる場合があります。

岐阜市、羽島市、岐南町、笠松町で構成される岐阜羽島衛生施設組合（管理者は柴橋正直岐阜市長）は、羽島市福寿町平方地内に計画している新たなごみ処理施設の整備・運営を手がける事業者を発表しました。

事業者は日立造船グループ

入札は令和４年４月に公告され、２つの企業グループから事業提案書が提出されました。岐阜羽島衛生施設組合の選定委員会で審査された結果、落札者に選ばれたのは日立造船株式会社中部支社を代表企業とするグループです。

この事業は、組合構成市町の安定的・継続的なごみ処理体制を再構築するため、ＤＢＯ方式（デザイン・ビルド・オペレイト方式）により、羽島市福寿町平方地内にごみ処理施設および関連施設の整備と運営を行うものです。運営期間は20年間が予定されていますが、これらの施設は約30年使用することを予定し、整備・運営が行われます。

新施設は、焼却発電によりこれまでになかった売電収入が得られ、運営時の負担の軽減に寄与します。

落札価格は337億2930万円（税込み）です。内訳は、設計・建設業務が187億9438万円、20年間の運営・維持管理業務が149億3492万円で、落札率は85・4％でした。

稼働開始は令和９年４月から

当初、施設の稼働は令和10年４月としていましたが、羽島市が手続きを担当する都市計画の変更、岐阜羽島衛生施設組合が手続きを担当する建設用地の取得を前倒しで進めることができました。

その結果、施設の稼働開始時期は１年前倒しされ、令和９年４月の予定となりました。

問い合わせ先

生活環境課（内線2123）、岐阜羽島衛生施設組合☎（271）0157

施設概要

実施場所	羽島市福寿町平方地内
敷地面積	約 31,500㎡
主な施設	●工場棟、管理棟、計量棟、洗車場 ●地域貢献施設、多目的広場
処理方式	ストーカ式焼却炉
施設規模	130 ｔ/日(65 ｔ/日×２炉、24 時間稼働)
稼働開始	令和９年４月１日
発電設備	発電効率 16.5%以上

今後のスケジュール（予定）

事業契約の仮契約締結	令和５年２月下旬
事業契約の本契約締結	令和５年３月下旬
設計・建設業務期間	令和５年３月下旬から 令和９年３月まで
運営・維持管理業務期間	令和９年４月（稼働開始）から 令和29年３月まで（20年間）

※「事業契約」は、基本契約、建設工事請負契約、運営業務委託契約、残さ運搬業務委託契約、残さ資源化等業務委託契約の総称です。

避難所機能を備えた関連施設を整備

関連施設として、災害時の避難施設、集会施設、入浴施設など地域住民が利用可能な地域貢献施設を整備します。また、管理棟には環境学習（見学）ができる施設を整備します。

なお、ごみ処理施設で発電された電力は、関連施設でも利用される予定です。

不二竹鼻町屋ギャラリー企画展

画家 坂倉新平の軌跡 ―羽島、パリ、二宮

問い合わせ先　不二竹鼻町屋ギャラリー☎393（0951）

無題　1983～84年　個人蔵

内なる光ーしじま（沈黙1）　1981～88年　個人蔵

坂倉新平（1934-2004）は竹鼻町に生まれた画家です。29歳から18年間フランス・パリを拠点に活動。帰国後は神奈川県二宮町にアトリエを構え、その作品は高い評価を受けました。

不二竹鼻町屋ギャラリー初となる作家個人の回顧展で、坂倉新平が表現した世界をご紹介します。

会　　期　1月14日～3月5日
開館時間　午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日　月曜日、2月24日（金）
入 館 料　一般300円（中学生以下無料）

記念講演等も開催

①記念講演会「光の中に跳びはねて―サカクラの色、サカクラの形―」
講　師　廣江泰孝氏（県美術館学芸員）
日　時　1月29日㈰午後2時～3時30分
会　場　福祉ふれあい会館
定　員　50名

②ビデオ上映会「新 美に生きる#85 坂倉新平 単純で深いもの」（映像提供：テレビ東京）
日　時　1月14日㈯・25日㈬、2月11日㈯・23日㈭、3月1日㈬午前10時30分～、午後1時30分～（1日2回・上映時間30分）
会　場　不二竹鼻町屋ギャラリー
定　員　各回6名

③学芸員による展覧会ガイド
日　時　1月18日㈬、2月5日㈰・15日㈬・26日㈰午後1時30分～2時30分
会　場　不二竹鼻町屋ギャラリー
定　員　各回5名

※いずれも参加無料。要予約。
※②・③は入館料が必要です。

雅　1959年　不二竹鼻町屋ギャラリー蔵

1月から改定

下水道使用料 説明会を実施

広報8月号でお知らせしたとおり、下水道事業の自立的な経営を目指すため、令和5年1月使用分から下水道使用料を改定します。10月に開催した説明会でいただいた意見・質問をご紹介します。

問い合わせ先　経営課（内線2164）

下水道使用料の改定（消費税抜き）

	水量	使用料（1カ月）		
		現行	改定後	増加額
基本料金	10㎥まで	1,100円	1,530円	430円
従量料金	10㎥を超え1㎥当たり	105円	147円	42円

新料金の適用時期

	令和4年		令和5年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
奇数月請求	旧料金		請求			
			新料金		請求	
偶数月請求		旧料金	新料金	請求		
				新料金		請求

説明会での意見・質問

Q　下水道に接続していない世帯の加入促進策を考えるべきでは？

A　工事費用の融資あっせんと利子補給制度を継続し、ホームページやチラシによる啓発を実施します。また、今後は県と協力した接続率向上のための取り組みを検討します。

Q　改定後、浄化槽と下水道はどちらの負担が大きくなるか？

A　一般家庭の合併処理浄化槽5人槽の維持管理費は、およそ月4,000円で、他にブロアを動かす電気代がかかります。下水道にかかる費用は、平均使用水量（25㎥）で月4,108円です。そのため、同程度の負担になるといえます。

Q　今後の使用料改定の見通しは？

A　今回の使用料改定は、令和3年度から7年度までの5年間を算定期間としています。その後の使用料改定は、令和7年度までの結果を考慮して検討する予定です。

Q　激変緩和措置として水道料金を減額すると、水道事業が赤字にならないか？

A　今回の水道料金の減額措置は一般会計からの補助を受けて実施しますので、水道事業への影響はありません。

水紋

コメ再考

広報アドバイザー
（元中日新聞記者）
西尾　敏正

ほとんどの方が正月にお餅を食べただろうか。餅の原料はもち米。パン食が増えたとはいえ日本人の主食は米。昨年、米作農家の話をうかがい、米やイネに対する無知を痛感した▼意欲的な若手は「米作りはおもしろい。AI機器を使い美味しい米を消費者に届けたい」と夢を広げる。別の農家も販路を拡大し自分で米を届けている。研究熱心で食味に自信を持ち、味の評価に敏感だった▼その新米を食べ、おいしい米の味を堪能した。炊きあがりのふっくらとした香り。粒ごとに歯ごたえがあり、冷めてもおいしい。甘味もある。羽島の「ハツシモ」もうまい▼「落水」「徒長」「穂ばらみ」等…。米作に関する言葉は多いのに、ほとんど知らなかった。日本の食料自給率は4割を切っている▼イネは光と水でデンプンを作ることができる。ヒトはそれを頼り、主食にする生き物だ。もう少し「農」や「米」に関心を持つべきだと新年に改めて思う。

1月のおしらせ

大学生等への支援特産品 申込期限迫る

保護者または学生本人が市内に在住する大学生等を対象に、特産品をお届けします。特産品を希望する人は、1月20日㈮までに市ホームページから申し込んでください。申請は対象者1人につき1回のみ可能です。

問い合わせ先　商工観光課（内線2613）

高齢福祉課からお知らせ

介護認定者の障害者控除

令和4年12月31日現在、原則65歳以上で、介護認定を受けていて、一定以上の障がいがあると認められる人は、所得税・市県民税の申告で、障害者控除の対象となる場合があります。この控除を受けるためには、証明書が必要です。介護保険証をお持ちの上、高齢福祉課で証明書発行の手続きをしてください。

おむつ代に係る医療費控除

確定申告などで、おむつ代が医療費控除の対象として認められるには、おむつ代の領収書、寝たきり状態にあることと治療上おむつの使用が必要であることについて医師が発行した「おむつ使用証明書」が必要です。

ただし、おむつ代の医療費控除を受けるのが2年目以降の場合は、介護保険の主治医意見書により①寝たきりの状態にあること②尿失禁の可能性があることが確認できれば、「おむつ使用証明書」の代わりに、市で確認書をお渡しします。

問い合わせ先　高齢福祉課（内線2554）

長寿お祝い商品券の使用期限

長寿お祝い商品券の使用期限は1月31日㈫までです。使い忘れにご注意ください。

問い合わせ先　高齢福祉課（内線2552）

学費の支払いが困難な家庭の高校生に奨学金

市内に住所があり、学資の支弁が困難な状況にある家庭の子どもで、高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校（3年生まで）、専修学校高等課程（大学入試資格付与校）に在学または進学を予定している、心身ともに健康で、学業成績が優秀な人に奨学金を支給します。申し込みの後に、市奨学金支給審査委員会の審査があります。

申込期間　1月6日～2月2日

申し込み方法　保護者から学校教育課へ申し込む。現在、中学校3年生と義務教育学校9年生の人は、学校へ申し出る。

問い合わせ先　学校教育課（内線6312）

幼稚園・こども園の在園予定者は無償化の届出を

令和5年4月以降、子ども・子育て新制度対象外の幼稚園に在園予定（新規入園含む）の子どもがいる人は、無償化の認定を受けるための書類の提出が必要です。

また、幼稚園（認定こども園の教育認定含む）に通う子どものうち預かり保育を利用予定の人や、認可外保育施設に在園予定（新規入園含む）の子どもがいる人で無償化を希望される人は、保護者の保育の必要性を証明する書類（就労証明書等）の提出が必要です。

対象となる子どもがいる世帯は、いずれも2月10日㈮までに市役所へ書類を提出してください。

問い合わせ先　子育て・健幸課（内線2523）

家庭での救急事故に注意

急激な温度変化によって、血圧が大きく変動し、身体に悪影響を及ぼすことをヒートショックといいます。

冬場の冷え込んだトイレや洗面室、浴室など温度差がある場所で起こりやすく、突然死の要因になります。特に入浴の際には注意が必要で、お湯の温度設定や浴室と脱衣室の温度差を少なくする等に心掛けましょう。

問い合わせ先　救急指令課☎（392）2601

市税の納付は納期限までに

市税を納期限までに納めないまま放置すると、延滞金が加算されるばかりではなく、差し押さえ等の滞納処分が行われることになります。必ず納期限までに納めましょう。

市税の納付でお困りの人はご相談ください。平日に来庁できない人は、休日窓口業務開庁日に来庁してください。

問い合わせ先　収納課（内線2242）

税・料の納付

1月は、市県民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の納付月です。納付期限は、1月31日㈫です。

税について

桑原輪中土地改良区域内の農地（田）異動の申告

令和4年中に農地の貸借や用途変更により耕作面積が変わった人は、1月31日㈫までに申し出てください。

※登記申請や農地法上の手続きが済んでいる人は、申告不要です。

償却資産の申告

1月1日現在で市内に償却資産を所有している人は、1月31日㈫までに償却資産申告書を提出してください。申告が必要な償却資産は、事業用の機械や工具、設備などです。

提出・問い合わせ先　税務課資産税係（内線2234・2235）

給与支払報告書の提出

給与支払報告書の提出期限は、1月31日㈫です。昨年中に給料の支払いをした事業所は、期限内に提出してください。

提出・問い合わせ先　税務課市民税係（内線2237・2238）

国民健康保険税の納付済額を通知

所得税や市・県民税の申告の参考に、昨年1年間の普通徴収による納付済額を記載したはがきを1月下旬に世帯主宛てに発送します。事前に納付済額をお知らせしている世帯へは発送されません。

特別徴収による納付済額は、源泉徴収票で確認してください。

問い合わせ先　税務課国民健康保険税係（内線2239）

税務署相談は事前予約を

税務署での申告相談は事前予約が必要です。2月15日㈬までは税務署、2月16日から3月15日まではマーサ21申告会場にて相談を受け付けます（土・日・祝日を除く。2月19日㈰・26日㈰は開設）。

e-Taxで確定申告

確定申告は、感染症対策のためスマートフォンやパソコンによる電子申告をお願いしています（還付申告は1月1日から5年間可能です）。

マイナンバーカードをお持ちの人は、ICカードリーダまたはマイナンバーカード読取対応のスマートフォンを使用して申告が可能です。

また、確定申告用ID・パスワードでの申告も可能です。ID・パスワードをお持ちでない人は、岐阜南税務署で発行しています。

問い合わせ先　岐阜南税務署☎（271）7111

医療費控除の明細書の作成

医療費の領収書等の提示による受け付けはできません。申告会場で申告される場合は、必ず事前に明細書の作成をお願いします。

問い合わせ先　税務課市民税係（内線2237・2238）

コミュニティーセンターでの申告受付

市県民税の申告や電子申告が難しい人に対して、市職員による出張受付を行います。

ただし、次の項目に該当する人は出張受付で対応できませんので、マーサ21等をご利用ください。

・譲渡所得のある人、住宅借入金等特別控除を初めて受ける人、青色申告をする人、亡くなった人の申告をする人

場所	日程	人数制限	
		午前	午後
足近コミュニティセンター	2月2日(木)	30人	30人
小熊コミュニティセンター	2月3日(金)	30人	30人
正木コミュニティセンター	2月6日(月)	45人	45人
	2月7日(火)	45人	45人
	2月8日(水)	45人	45人
上中コミュニティセンター	2月9日(木)	30人	30人
桑原コミュニティセンター	2月10日(金)	30人	30人

受付時間　午前9時00分～11時15分
午後0時50分～3時15分

※事前予約はできません。

申告会場では感染症対策にご協力を

検温・マスク着用・距離の確保

○受付時に検温を行います。37.5℃以上の人は、入場できませんので、来場前に検温し、体調のすぐれない場合は来場をご遠慮ください。
○会場内ではマスクを着用し、他の来場者との距離を保ってください。
○スリッパをご持参ください。
○会場内を換気していますので、防寒のご準備をお願いします。

混雑回避のための人数制限

○会場・時間ごとに受付可能な人数を制限します。受付人数に達した時点で受け付けを終了します。
○日をまたいだ受け付け、午前中に午後の受け付け、電話での受け付けはできません。
○会場内の待機可能人数を超えた場合は、控室にご案内します。控室も満室の場合、施設外でお待ちいただくことがあります。例年は午後のほうが比較的余裕があります。
○正木コミュニティーセンターは地区ごとに申告日を指定しています。混雑防止にご協力ください。

坂丸・不破一色・曲利　2月6日(月)
森・光法寺・大浦・新井　2月7日(火)
南及・上大浦・大浦新田・須賀・三ツ柳　2月8日(水)

税・料のお支払いは、安心便利な口座振替をご利用ください。

1月のガイド

募集

会計年度任用職員

市役所、教育委員会、市民病院に勤務する会計年度任用職員（パートタイム）を募集します。募集職種ごとに市ホームページに掲載します。

●募集期間＝1月上旬～2月中旬頃（職種により異なる）●詳しくは、市ホームページもしくは職員課（内線2372）へ

美濃菊苗の配布希望者

市の花「美濃菊」の苗を無料配布します。11月開催予定の美濃菊展にも出展できます。

●申込開始日＝1月5日㈭●配布数＝1人3本（先着50人）●配布日＝5月下旬～6月中旬予定●配布場所＝市役所旧北庁舎駐車場付近●詳しくは、農政課（内線2623）へ

消防団員

消防団は、火災発生時だけでなく平時においても訓練や応急手当の普及啓発活動により、地域の消防力・防災力の向上を図っています。

各町内で令和5年度新入団員を募集しますので、ご協力をお願いします。

●詳しくは、消防総務課☎（392）2601へ

公募委員

生涯学習都市推進会議委員

●人員＝若干名●資格＝市内に1年以上居住し、平日昼間の会議に参加でき、他の付属機関等の委員・市議会議員・市職員でない人●任期＝4月1日～令和7年3月31日●報酬＝1回の出席につき6000円●申込期限＝1月23日㈪まで●詳しくは、生涯学習課（内線6135）へ

雑誌スポンサー

図書館の雑誌の年間購入代金を負担していただき、雑誌の最新号カバーにスポンサー名、裏面に広告を掲載します。

●応募資格＝企業・商店・団体など（個人は除く）●対象雑誌＝図書館が作成した「雑誌リスト一覧」より、図書館と協議のうえ選定●スポンサー期間＝1年以上●申し込み方法＝雑誌スポンサー申込書に必要事項を記入し、広告案を添えて図書館に持参または郵送●詳しくは、図書館☎（392）2270へ

催し

市ボッチャ大会

●日時＝2月5日㈰午前8時20分～●場所＝羽島特別支援学校2階体育館●参加資格＝市内在住、在学、在勤のいずれかに該当する小学生以上の人で構成された3～5人のチーム（組み合わせ抽選会に各チーム1人の参加が必要・代表者は18歳以上とすること）●参加料＝1チーム1000円●申し込み方法＝1月10日㈫までに申込用紙をスポーツ推進課へ提出●申し込み・問い合わせは、スポーツ推進課（内線6138）へ

生涯学習推進市民大会

龍谷大学の脇田健一教授による地域づくり型生涯学習に関する講演を行います。

●日時＝2月4日㈯午後1時30分～3時●場所＝不二羽島文化センター●参加料＝無料●申し込みは、生涯学習課（内線6135）へ

歴史民俗資料館・映画資料館

企画展「昔のくらしと道具展」～教科書でたどる明治から昭和の時代～

●期間＝1月7日～3月19日

映画の集い「天下の伊賀越暁の血戦」

●期日＝1月14日㈯●時間＝午前10時～、午後2時～

マイコレクション「パッチワーク展」パッチワークたんぽぽ

●期間＝1月5日～3月19日◇入館料＝高校生以上300円、中学生以下無料※マイコレクションの参観は無料◇開館＝午前9時～午後5時◇休館日＝年始は1月4日㈬まで・10日㈫・16日㈪・23日㈪・30日㈪、2月6日㈪※詳しくは、同資料館☎（391）2234へ

国際交流協会

幼児向け英語遊び

遊びを通して、親子で英語に触れ合います。

●日時＝1月19日㈭午前10時30分～11時15分●場所＝資源物ストックヤード●定員＝3歳までの幼児とその保護者15組●参加料＝会員無料、非会員500円※申込多数の場合会員優先※詳しくは、国際交流協会事務局（市民協働課内・内線2312）へ

図書館

◇開館＝午前10時～午後6時※1月4日～6日は、午前9時に開館します。◇休館日＝年始は1月3日㈫まで・10日㈫・16日㈪・23日㈪・30日㈪・31日㈫、2月6日㈪※詳しくは、図書館☎（392）2270へ

消防出初式

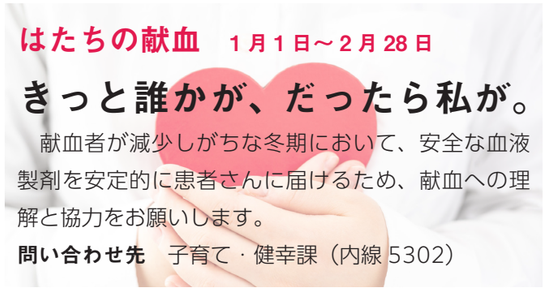
長年にわたり消防活動に従事した消防職・団員の表彰、消防部隊行進、消防署の訓練披露、一斉放水を行います。

●日時＝1月15日㈰午前9時30分～11時30分※午前9時30分から正午まで、不二羽島文化センター周辺道路を規制します。●場所＝不二羽島文化センター●詳しくは、消防総務課☎（392）2601へ

その他

市スポーツ協会職員募集

●人員＝パート職員3人●資格＝70歳未満で心身ともに良好な人●内容＝スポーツ施設の受付・施錠管理業務●勤務体系＝1カ月で5日～10日間程度の勤務●期間＝2月1日から1年間●申し込み方法＝1月23日㈪までに履歴書を市スポーツ協会事務局へ提出●詳しくは、市スポーツ協会事務局☎（392）8708へ



♨今月の羽島温泉の休館日　年始は1月3日㈫まで休館、5日㈭・16日㈪・25日㈬

岐阜県離職者等委託訓練の訓練生募集

ハローワークに求職登録しており、「保育士」または「介護福祉士」として正社員就職を希望する人を対象とした職業訓練コースの紹介です。入学金・2年間の学費が無料になります。（別途教材費等が必要）

資格	職業訓練校	申込期限	定員	問い合わせ先
保育士	岐阜聖徳学園大学短期大学部（岐阜市）	3月7日㈫	6人	☎058（278）0727
	中部学院大学短期大学部（関市）	3月6日㈪	12人	☎0575（24）2213
介護福祉士	サンビレッジ国際医療福祉専門学校（池田町）	3月8日㈬	6人	☎0585（45）2220
	中部学院大学短期大学部（関市）	3月6日㈪	14人	☎0575（24）2213

教育委員会表彰　24人を表彰

各分野で顕著な成果を挙げた個人や団体を表彰しました。（敬称略）

教育関係委員

今井田眞千子（羽島市教育委員会委員）、加地保道（学校医）、浅野喜代治（学校医）、河村泰宏（学校歯科医）、入山武志（学校歯科医）、里村隆（学校歯科医）、野田邦男（羽島市文化財審議会委員）、（故）並河晴夫（羽島市歴史民俗資料館運営協議会委員）、宮田敏子（羽島市社会人権教育推進協議会委員）

児童・生徒

尾関李舞（正木小3・テコンドー）、尾関陸王（正木小6・テコンドー）、春日梨睦（竹鼻小4・柔道）、小鹿叶翔（羽島中3・ビーチバレーボール）、尾方咲星（竹鼻中3・水泳）、田中慎之佑（竹鼻中3・柔道）、上吉早苗（中島中3・絵画）、春日琉伊（大成中2・柔道）、大城渚（コリア国際学園1・ダンス）、斉藤史弥（大垣西高3・アーチェリー）

学校・団体

種田興瀬（岐阜高専・卓球）、二村航人（岐阜高専・卓球）、寺本喜紗来（岐阜高専・卓球）、日比野将大（岐阜高専・柔道）、舘野峻輝（東洋大・陸上）

岐阜県広報

岐阜県からのお知らせ

点字版・音声版をご希望の方は、県庁広報課へご連絡ください
音声版には、CD（デイジー編集）での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

●県の人口
1,945,350人（976人減）
※令和4年10月1日現在
※（　）内は前月との比較

県政広報テレビ番組
「ぎふ県政ほっとライン」

「清流の国ぎふ
岐阜県ミナモだより」

New!!
「@Gifu_kouhou」

ぎふチャン（8ch）データ放送で
「岐阜県からのお知らせ」も
配信中！

d ボタンを押して
地元情報をゲット！

今月のピックアップ情報

新岐阜県庁舎 1月4日（水）開庁

新たな県政の拠点として、令和元年7月から建設工事を進めてきた新岐阜県庁舎は新年1月4日（水）に開庁します。
「県民の暮らしを守る」、「地域の魅力を発信」、「環境負荷やライフサイクルコストを低減」という3つの基本方針に基づき、整備しました。一部の所属については、1月4日以降も、順次新県庁舎への移転を進めます。移転等のスケジュール等は、紙面右の二次元コードからご確認ください。

来庁される皆様へ

- 新庁舎では、防犯、個人情報の保護等に配慮して「セキュリティゲート」を設置しています。職員との面談を行う場合は、受付にて「入庁者用ICカード」の交付を受けてください。なお、1～3階、20階清流ロビーについては、入庁手続は不要です
- 住所、代表電話番号は従来どおりで変更はありません

- 開庁時間：8時30分～17時15分
  ※土曜日、日曜日、祝日（振替休日を含む）、年末年始（12月29日～1月3日まで）を除く
  ※一部、開庁時間の異なる機関、施設があります
- お問い合わせ
  移転に関すること：県庁舎開設準備課 ☎058（272）1148
  庁舎管理に関すること：県管財課 ☎058（272）1150

新県庁舎の最新情報はウェブで随時公開中!

情報ボックス

県広報は県公式ウェブサイト、広報紙ポータルサイト「マイ広報紙」・「岐阜イーブックス」、広報紙アプリ「マチイロ」でも公開中！
※掲載している二次元コードは、スマートフォンの機種やアプリなどによって、読み込めない場合があります

アイコン説明　催し　募集　資格・研修　その他

消防団はあなたの力を待っています！

消防団は、災害等の発生時に住民を守る重要な使命を担っています。消防団について詳しく知りたい方は、お住まいの市町村または消防署にお問い合わせください。

●問／県消防課 ☎058（272）1122

岐阜県　消防団　検索

環境にやさしい買い物でエコライフをはじめよう

東海三県一市で、環境にやさしい商品を購入した方に抽選で賞品が当たるキャンペーンを共同で実施します。

●とき／令和5年1月9日（月）～2月8日（水）
●ところ／東海三県内の食品小売店等
●申込方法／店舗に備え付けの応募用紙またはポスターの二次元コード
●申込期限／2月8日（水）消印有効
●問／県廃棄物対策課 ☎058（272）8214

東海三県一市グリーン購入キャンペーン　検索

清流の国ぎふ健康づくりフォーラムの参加者を募集します

●とき／令和5年2月18日（土）※無料
●ところ／新県庁舎ミナモホール（岐阜市）
●定員／会場150人、オンライン200人（先着）
●申込方法／申込フォームまたはメール
●申込期限／1月31日（火）必着
●申込先・問／県保健医療課
☎058（272）1111（内線2539）
✉c11223@pref.gifu.lg.jp

清流の国ぎふ健康づくりフォーラム　検索

NHK大河ドラマ「どうする家康」展・ぎふ 関ケ原 開催

番組出演者の等身大パネルやサイン、衣装など、ドラマの世界観を体感できます。

●とき／令和5年1月17日（火）～令和6年1月上旬※無料、申込不要
●ところ／岐阜関ケ原古戦場記念館1階 広域観光情報コーナー（関ケ原町）
●主催／（一財）NHKサービスセンター
●問／岐阜関ケ原古戦場記念館
☎0584（47）6070

障がい者就労施設製品オンライン販売サイトが開設

岐阜県内で障がい者の就労支援に取り組む福祉施設・事業所が製造・販売する商品を取り扱うオンライン販売サイトが開設されます。サイト内ではお菓子や日用品、アクセサリー、工芸品など様々な商品が販売される予定です。お買い求めいただくことで、障がい者の自立支援に繋がります。

●とき／令和5年1月下旬開設予定
●問／岐阜県社会福祉協議会・セルプ支援センター ☎058（201）1561

岐阜福祉の杜オンライン　検索

コロナワクチン 幅広い世代の皆さんへ

重症化・感染・発症の予防効果が期待できます。旅行・帰省・受験など、人が集まる機会が増える前に、ワクチン接種をご検討ください。高齢者だけでなく、若い世代の皆さんにも接種をおすすめします。

【お知らせ】…… 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等の中止または変更になる場合があります。

この情報は令和4年12月2日現在のものです。
県庁広報課 ☎058（272）1111（代）　FAX058（278）2506

スマホやタブレットで広報紙が読める　広報紙をPC・スマホで @マイ広報紙
電子書籍ポータルサイト @岐阜イーブックス
マチを好きになるアプリ @マチイロ

information+

相談ダイアリー

問い合わせ先　市民総合相談室（内線 2532）

種別	相談日	時間
行政相談	2月2日	13:00~15:00
法律相談（予約制）	1月11日・27日	13:00~15:00
交通事故相談	毎週火曜日	10:00~16:00
年金・社会保険労働相談（予約制）	2月6日	13:00~16:00
心配ごと相談（予約制）	1月6日・20日、2月3日	13:00~16:00
人権相談	1月12日	13:00~15:00
就業促進相談	毎週月・木曜日	13:00~15:00
登記・相続相談（予約制）	2月1日	13:00~16:00
不動産相談（予約制）	1月18日	13:00~16:00
建築設計相談（予約制）	1月25日	13:00~16:00
多重債務相談（予約制）	1月17日	13:00~16:00
消費生活相談	毎週月～金曜日	9:00~12:00 13:00~16:00
おみサポ・ぎふ登録受付	毎週月～金曜日	10:00~16:00

●祝日は、全ての相談を休みます。
●相談は無料で、秘密は厳守します。
●予約については、事前にお問い合わせください。
●場合により中止になることがあります。

水道管の凍結防止

●水道管凍結を防ぐには

屋外のむき出しになっている水道管や蛇口に、保温材や布切れを巻きつけ、その上からビニールテープなどを下から上へ巻いて直接冷気が当たらないようにしてください。また、蛇口を少し開けて水を出しておくと、凍結しにくくなります。

●凍結してしまったら

凍結部分をタオル等でつつみ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてください。直接熱湯をかけると破裂する恐れがあります。

●水道管が破裂してしまったら

応急措置として、メーターボックス内等にある止水栓を閉め、破裂した部分に布またはテープを巻いてください。その後、市指定給水工事事業者に修理を依頼してください。

問い合わせ先　経営課（内線 2162）

不二羽島文化センター

問い合わせ先　不二羽島文化センター☎（393）2231
ホームページアドレス　https://hashima-culture.jp/

山内恵介コンサートツアー 2023

日　時　3月21日（火祝）午後2時～
入場料　指定席 7,200円
（当日同額・税込・未就学児入場不可）
チケット発売日
来館販売 1月28日（土）午前9時～
電話予約 1月29日（日）午前9時～
※友の会会員は各1週間前に予約販売開始

レ・フレール with オーケストラ・アンサンブル金沢 スペシャルコンサート

日　時　3月25日（土）午後2時～
入場料　S指定席 6,000円、
A指定席 5,000円、
B指定席 4,000円
（当日同額・税込・未就学児入場不可）
※中学生以下は半額
チケット好評発売中

休館日　1月1日～4日・10日（火）・17日（火）・24日（火）・31日（火）

市民の声募集・パブリックコメント

パブリックコメントの意見募集の資料は、市ホームページ、担当課、コミュニティセンターで配布しています。

羽島市国土強靭化計画（改定案）

意見募集期間　1月6日～2月6日
提出・問い合わせ先
〒501-6292　羽島市竹鼻町55　羽島市役所危機管理課
☎ 058(392)1111(内線 5102)　FAX058(394)0250
✉ kiki@city.hashima.lg.jp

インボイス制度　10月から開始

10月から消費税のインボイス（適格請求書）を交付するためには、原則として3月31日までに登録申請手続きを行う必要があります。

国税庁では、「インボイス制度特設サイト」（上の2次元コード）を設け、申請手続きやQ＆Aを掲載しています。

問い合わせ先　軽減・インボイスコールセンター☎0120（205）553

由珠（ゆず）ちゃん（2歳0カ月）

父：村岡茂雄さん　母：聖菜さん　〔竹鼻町〕

はいポ～ズ

応募はコチラ

獅愛（れおん）くん（0歳4カ月）

愛琉（あいる）くん（4歳2カ月）

父：木村憲汰さん　母：真依子さん　〔上中町〕

1月 保健コーナー

場所・問い合わせ先
保健センター（内線 5305・5306）

行事名【対象者】	期日等	時間
乳幼児相談【乳幼児】	1月12日(木)・24日(火)	9：00～11：30（受付）
離乳食教室（初中期）【5カ月前後の児】	1月17日(火)	9：45～10：00（受付）
はみがき教室とフッ化物塗布【2年7月・3年1月生まれ】	1月26日(木)	9：50～11：05（受付）
健康相談	随時	8：30～17：15
精神保健（こころ）の相談	1月10日(火)	13：30～15：30
胃・肺・大腸がん検診【40歳以上】	1月23日(月) 場所：資源物ストックヤード 2月4日(土) 場所：正木コミュニティセンター	8：55～11：20（受付）
乳がん検診【30歳以上の女性】	1月28日(土)、2月14日(火)	午前の部 9：10～11：20 午後の部 13：10～15：20（受付）
大腸がん検診【40歳以上の女性】		
胃がん検診（医療機関委託）【50歳以上】	令和5年2月28日(火)まで	実施医療機関の診療時間内です。実施医療機関はホームページで確認または保健センターへお問い合わせください。
大腸がん検診（医療機関委託）【40歳以上】		
子宮頸がん・体がん検診（医療機関委託）【20歳以上の女性】		

※会場は特に指定がない限り、市保健センターです。
※事前予約制です。お電話でお申し込みください。
※市内に住民票がある人が対象です。
※子どもの健康診査は個別に郵送する案内文書でご確認ください。
※各がん検診は年度で1回受診できます。生活保護世帯の人は無料のため、検診を受ける前に保健センターに連絡してください。

休日急病診療

診療時間
午前9時～午後2時

期日	医療機関（医科・歯科）
1月1日(日)	羽島皮膚科・内科（竹鼻町）☎（392）1226
	浅野歯科（竹鼻町）☎（392）9222
1月2日(月)	いのうえ小児科クリニック（竹鼻町）☎（392）8808
	糸井川歯科医院（竹鼻町）☎（391）5819
1月3日(火)	いのうえ整形外科（江吉良町）☎（394）1355
	入山歯科医院（上中町）☎（392）8214
1月8日(日)	岩佐医院（正木町）☎（392）8888
	かわむら歯科クリニック（竹鼻町）☎（391）6480
1月9日(月)	いわたクリニック（正木町）☎（394）3017
	かんばら歯科医院（福寿町）☎（394）0880
1月15日(日)	大島内科クリニック（竹鼻町）☎（391）0707
	近藤歯科医院（桑原町）☎（398）2700
1月22日(日)	小川医院（下中町）☎（398）3211
	里村歯科医院（小熊町）☎（392）6146
1月29日(日)	小田内科（足近町）☎（392）1225
	高田歯科医院（竹鼻町）☎（392）6482
2月5日(日)	加地内科（足近町）☎（392）6688
	タカダ歯科（竹鼻町）☎（394）1135

※往診はありません。
※必ず保険証を持参し、電話連絡の上、受診してください。

水道料金・下水道使用料の消費税端数処理を変更

令和5年1月使用分から、10円未満の端数切捨てから1円未満の端数切捨てに改めます。
問い合わせ先　経営課（内線 2164）

母子健康手帳の交付　妊娠が明らかになった人は、早めに母子健康手帳の交付を受けましょう。予約制となりますので必ず事前にご連絡ください。（所要時間 40 分）　交付場所・予約先　保健センター（内線 5305・5306）

羽島市の最新情報 SNS でチェック！　フェイスブック Facebook　ツイッター Twitter　インスタグラム Instagram

■人口 67,096 人（－40）・男 33,084 人・女 34,012 人
■世帯数 27,581 世帯（＋463）令和4年12月1日現在
※（　）は前年同月との比較

発行／羽島市役所　編集／市長室秘書広報課　〒501-6292　羽島市竹鼻町 55 ☎（392）1111